

(別紙2)

功績概要等の記載例について

1 自立更生者推薦調書(様式1)中「自立更生の概要」の記載例

高校卒業後、〇〇製作会社に就職したが、△年後に不慮の事故で右手を切断し退職に至った。しかし、〇〇製作に対する高い熱意から、復職に向けて□年に渡る厳しいリハビリに挑んだ。

その努力により周囲の理解を得て、知人と〇〇製作販売会社を起業する。そこで従来の〇〇製作に加え、販路拡大のため日本全国で営業活動を実施することにより、独自に販売業の基礎を習得した。

平成●年には同社代表取締役役に就任し、知的障害者を積極的に雇用するなど障害者の社会参加の促進にも貢献している。

また、身体障害者相談員として地域の障害者からの信望も厚く、◎◎県▲▲▲▲協会等の役員を歴任し、平成■年度からは◎◎県▲▲▲▲協会連合会の会長を務めるなど、真に身体障害者の範としてふさわしいと認められる。
(329字)

2 更生援護功労者・団体推薦調書(様式2)中「功績概要」の記載例

昭和〇〇年△月に□□県立●●養護学校PTA副会長に就任し、養護学校教育の振興や卒業後の進路開拓に取り組んだ。

昭和▲▲年■月には(財)□□県◎◎◎◎会の理事に就任し、以来〇〇年余にわたり同会の運営に参画し、知的障害児(者)の福祉の増進に大きく貢献した。

また、卒業後の進路の一つとして、昭和●●年に小規模作業所「▲▲▲園」を設立運営したのち、(社福)「▲▲▲の会」の創設へと邁進し、県内初の親による知的障害者通所授産施設「▲▲▲園」を平成■年に開設、初代施設長に就任して施設発展の礎を築いた。

常に知的障害児(者)の福祉の向上を目指す一貫した姿勢と行動力で他の模範となり、後継者の育成にも力を注いでおり、その功績は誠に顕著である。
(312字)

3 身体障害者等社会参加促進功労者推薦調書（様式3）中「功績内容」の記載例

- ・ 障害のレベルに合った参加ができるよう創意工夫したルールを考案し、身体障害者スポーツの全国普及・発展に大きく貢献した。
- ・ 平成〇年に日本身体障害者△△会を設立。同年、□□市に働きかけ、全国身体障害者△△大会の開催を成功させた。
- ・ 平成●年より、全日本身体障害者△△選手権大会を▲▲県で開催させ、現在も継続している。
- ・ 平成■■年には第1回世界身体障害者△△大会を日本で開催する中心的役割を担い、平成◎◎年には第2回大会を開催するなど、障害者スポーツの普及啓発に貢献した。また本代表の監督としても日本チームを連続優勝に導いた。 （261字）

4 身体障害者等社会参加促進功労団体推薦調書（様式4）中「功績内容」の記載例

- ・ 「障害者の自立と社会の共生」を理念として、主に障害当事者の海外派遣、ボランティア活動の普及啓発、障害者の居住環境に関する調査研究を実施している団体である。
- ・ 中でも幅広い分野で社会に貢献したいと願う障害当事者向けの海外派遣者数は延べ〇〇〇人を超え、帰国後は、大学教授や県議会議員をはじめ、障害者スポーツのインストラクターやパラリンピックメダリストなど、障害者福祉の様々な分野においてリーダーとなる人材を輩出している。
- ・ また「△△△のつどい」として、全国主要□□都市において演劇を中心とした社会貢献の普及啓発活動を毎年実施している。 （265字）